



スリーアール

「3R」という言葉を聞いたことはありませんか？

Reduce : リデュース (ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと)

Reuse : リユース (くり返し使うこと)

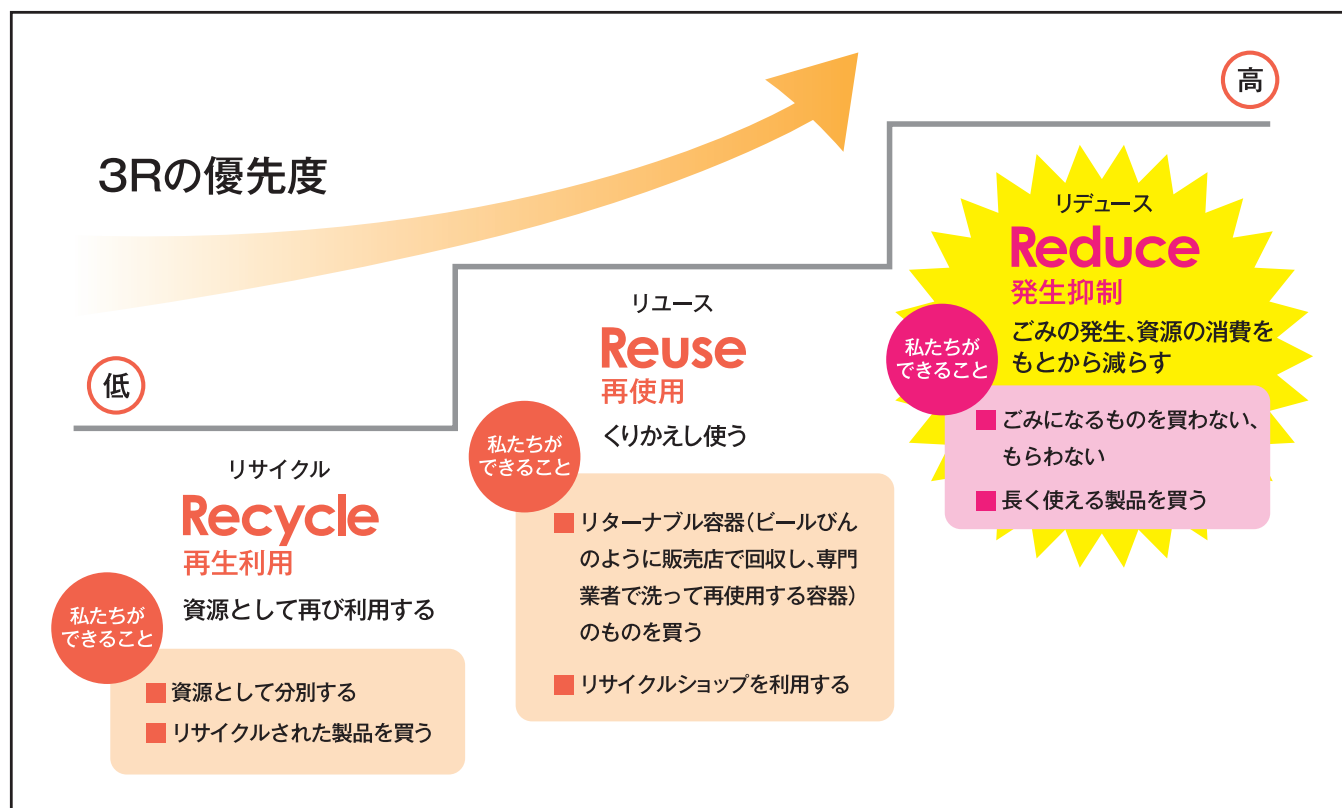
Recycle : リサイクル (資源として再び利用すること)

「3R」は、ごみを限りなく減らすことでごみの焼却や埋立処理による環境への負担をできるだけ少なくし、さらに、限りある地球の資源の使用を減らすために、資源を有効的に繰り返し使う社会 (これを「循環型社会」と言います) を実現するための、重要なキーワードです。

一番大事なのは？

「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」、どれも重要な行動ですが、特に、ごみの発生、資源の消費をもとから減らすリデュースが一番重要な行動です。

まずは、「ごみになるものを買わない、もらわない」「長く使える製品を買う」行動を心がけましょう。



また、「3R+Renewable (リニューアブル)」という考え方も、近年重要になっています。

「Renewable」とは、「再生可能な資源に替える取り組み」です。例えば、プラスチック製のレジ袋を「バイオマスプラスチック」製に替えることが「リニューアブル」のひとつです。原料が植物などの再生可能な資源であり、焼却処分したとしても、バイオマスのもつカーボンニュートラル性から、排出されるCO₂は植物が吸収した量と同じであると考えられます。